令和8年度全国学力・学習状況調査　栗山町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:3校、児童数:76人　中学校数:1校、生徒数:76人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

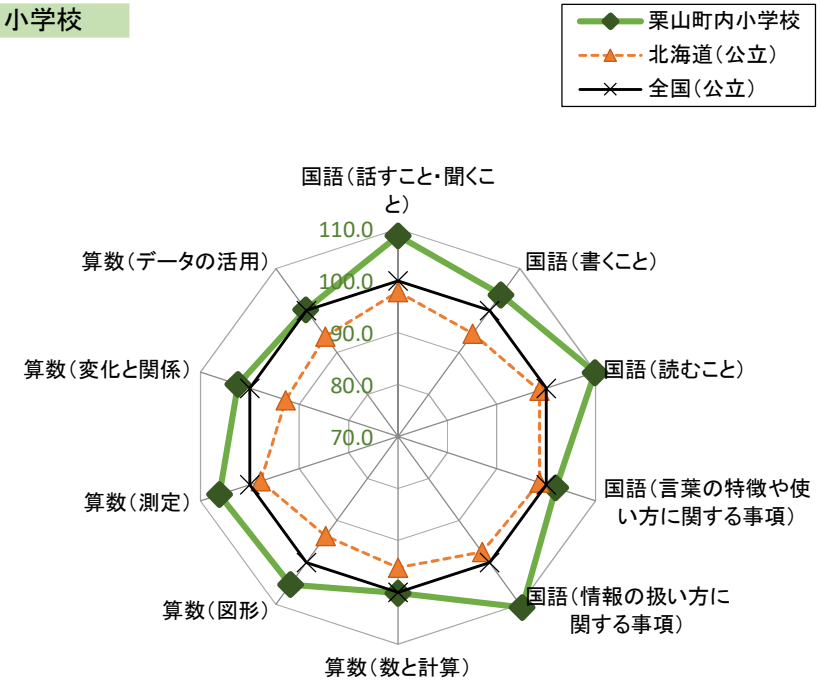
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

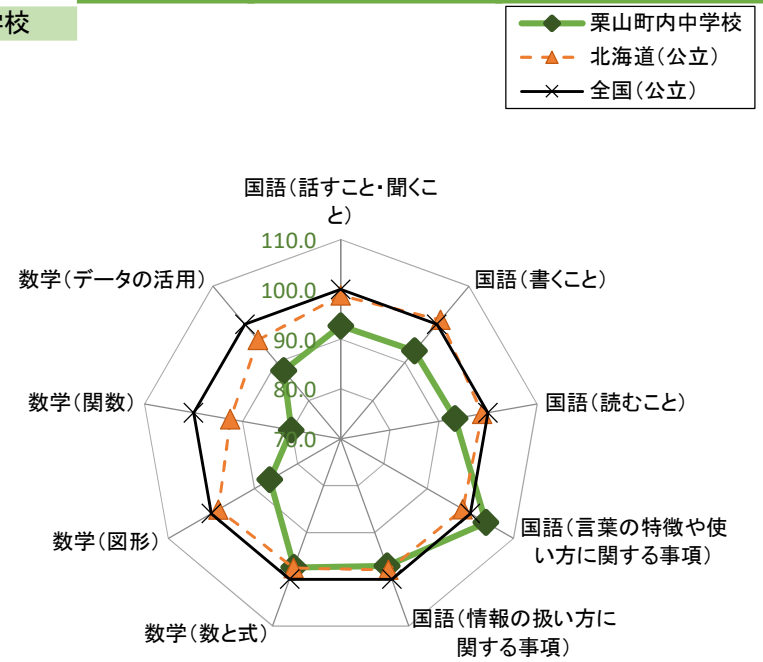
※中学校英語は4技能（聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと）の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
栗山町	65	58	62	51	477
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校

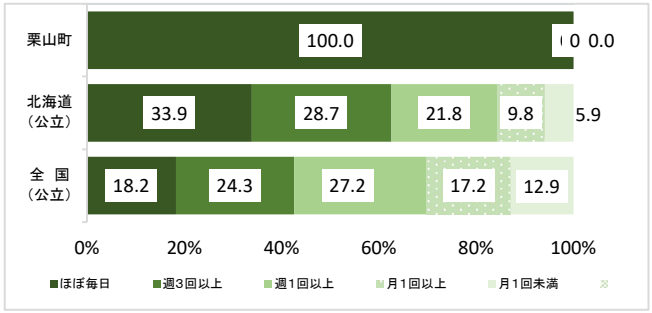


中学校

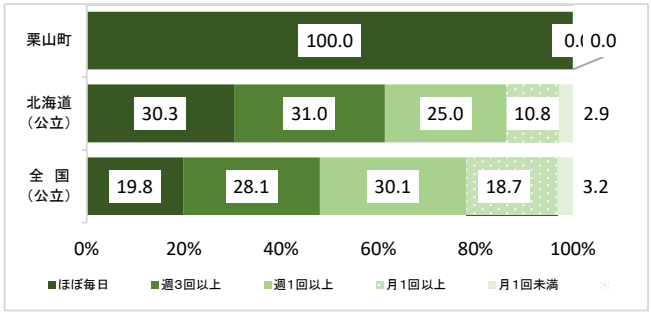


○ 質問調査の状況

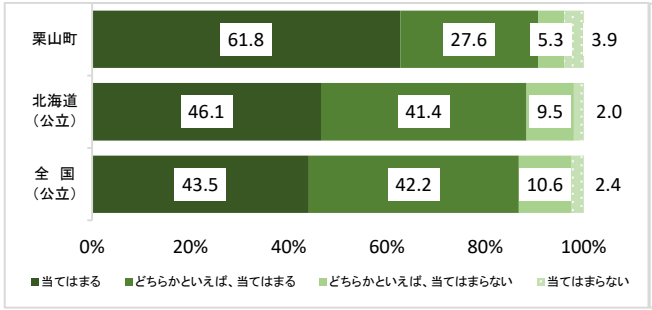
小学校
＜学校質問＞
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



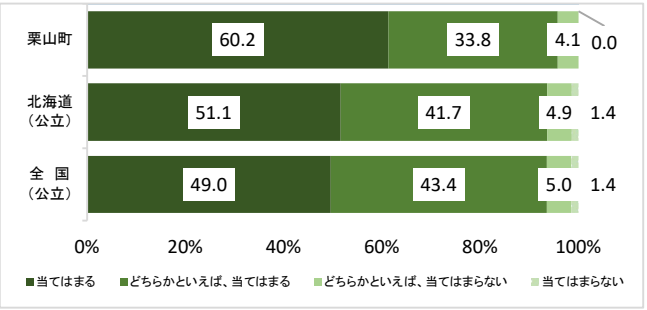
中学校
＜学校質問＞
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



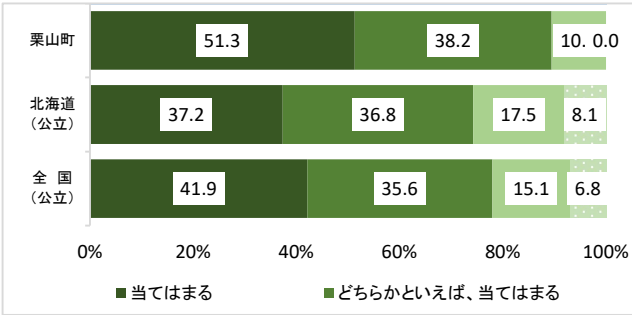
小学校
＜児童質問＞
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



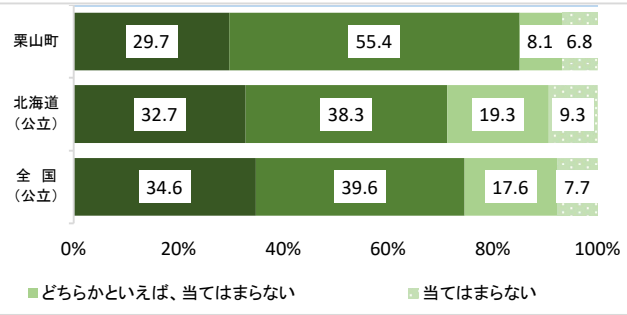
中学校
＜生徒質問＞
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



小学校
＜児童生徒質問＞
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回る結果になったと考えられる。
- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒が、全国及び全道を上回る結果になったと考えられる。
- 算数[数学]の「授業の内容はよくわかる」「どちらかといえばよくわかる」という肯定的回答は小学校及び中学校で全国及び全道を上回る結果になっている。平均正答率については小学校で全国及び全道を上回る結果となっており、ICT機器の活用や協働的な学びの取組が良い影響となっていると考えられる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる児童生徒一人一人の資質・能力をより一層確実に育成する取組の推進
- ICT端末を活用した学習支援ソフトによる個別最適な学びの提供による基礎学力向上の取組の推進
- 小・中学校における一貫した確かな学力の向上の推進及び協働研究・研修の充実